

# じち魂

第4号

2007年2月21日

発行 2007青年自治研集会実行委員会

〒112-0012 東京都文京区大塚 4-10-7

(日本自治体労働組合総連合内)

電話：03-5978-3580

fax：03-5978-3588

## みんな集まれ！！青年自治研集会へ

## 第五回実行委員会開催しました！！

二月十八日（日）、第五回青年自治研集会実行委員会を開催しました。本番まで残り二週間となった実行委員会では、基調報告のまとめ、分科会の運営、交流会の内容などについて話し合いました。

最初に実行委員長の鳥越さんと中央アドバイザーの林さんのあいさつの後、全体会と分科会の基調報告について話し合いました。分科会では、どのようにすれば参加者が話しやすい環境を作ることができるかなどについて実行委員で考えました。

な内容にするため、みんないろいろな案を出しあいました（詳細は下記参照）。最後に参加状況と当日の役割について確認して、実行委員会を終えました。

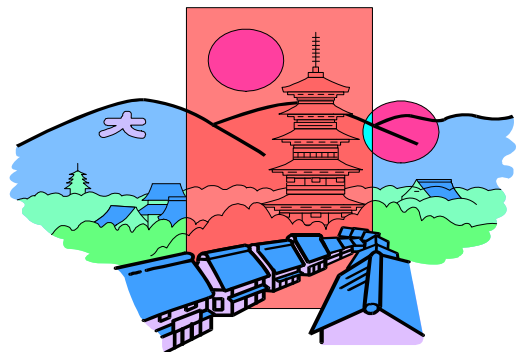
十一月から始まった実行委員会は、実行委員みんなで準備してきました。参加したみなさんが「参加してよかった」と思えるような集会になるよう実行委員一同がんばります！！



あいさつする鳥越実行委員長

## 交流会企画はこんなことやります！！

交流会では、参加者のみなさんに楽しんでもらえるように、いろいろな企画を用意してますので、お楽しみにしてください！！



**3月3日(土) 場所:お宿いしちょう**

**19時 開始**

はじめは分科会ごとに着席します。  
実行委員が素敵な「何か」をするかも！？

**19時30分頃**

**分科会対抗クイズ**

みんなで協力してがんばろう！！  
素敵な景品があるかも！？

**21時 閉会**

参加者の交流を深まり、明日の分科会でもっと話して学んで交流しよう！！



何やら練習の実行委員たち。その全貌は当日明らかに！

# 青年自治研への期待

岩手県自治労連中央執行委員長

## 佐藤 一則

現在の生活に不安九一・四%  
（〇七年一月一日付「岩手日報」  
三年連続九割以上の岩手県民が  
将来への不安を抱えていると大  
きく掲載されました。

貧困が拡大して、ほんのひと  
にぎりの人に富が集中している  
ということが、ますますはつき  
りしています。

自治体窓口において、法律・条  
例でこうなっているからとして、  
機械的な受け答えだけでは決し  
て住民の皆さんの信頼は得られ  
ませんし、くらしと福祉は守ら  
れません。

願いが叶えられず帰っていく  
住民の後姿を見るのは、一日中  
イヤな気分になりますね。

そうすることも、一職員とし  
て致し方ない面は持っています  
が「なぜ・・・、どうして・・・、  
どうしたら・・・。」ということ  
を考えると大切ですね。でも、「そんな時間は無い」「今は

仕事を覚えるのに必死なんだか  
ら・・・。」と言われそうです。  
が、しかしです。

「住民の皆さんによるこぼれ  
る仕事をしたい」ということは、  
誰でもがスタートラインに立つ  
たときの思いだったはずですよ。

今回行われる『青年自治研』は、  
そんな人の為にこそ作られたタ  
イムリーな企画です。

きつと今までの自分は何だつ  
たのだろうと思うこと間違いな  
しです。私は盛岡商業高校のサツ  
カー部が全国優勝した際、多くの  
感動をもらいました。私たちも学  
ぶべきことが多くありました。ひ  
たむきに粘り強く、チームワーク  
とチャンスを生かし走ること、そ  
して何よりも光ったのは、生徒と  
監督の信頼の絆でした。そうで  
す、住民の皆さんとの絆・首長や上司  
と絆をしっかりとつくれるかがカ  
ギなんです。そのためのポイント  
は、何でも言える民主的な職場を  
作る事なんです。大いにフレッ  
シユな感覚で参加してみてください  
かがでしようか？  
期待しています!!

▼佐藤委員長、ありがとうございます  
ました。期待に応えられるように  
がんばります!!

もうすぐ開催!!

## 青年自治研集会

今語ろう、私たちの仕事と住民の暮らし

日時：3月3日（土）～4日（日）

場所：京都市内

詳細・申込は組合事務所まで。お早めに!!

## 第五号予告

- ▼青年自治研集会いよいよ開催!
  - ▼実行委員の意気込み紹介!
  - ▼リレーメッセージ(岡山)
  - ▼連載いいんちよのつぶやき他
- お楽しみに!

### いいんちよのつぶやき

この冬の一押しは、青年自治研  
ですよ。て、前置きはさておき散  
策好きな私は、なんと行ってもこ  
の冬の京都の特別公開は外せな  
いですね。普段は見学することの  
できない庭園や仏像、襖絵、建築  
物等々なんて話をすれば、年齢を  
疑われますが。特別公開は一見  
の価値があります。ひと時  
いつもの日常の生活から離  
れて、みるのもいいもので  
す。教科書に載っていたも  
のの实物を、生で見ること  
ができるのです。いや、楽  
しみです。童心に戻ります  
けどね。当然のことですが、  
自分の目で見て、耳で聞き、  
肌で感じるこれは、なにも  
のにも代えがたいものです。  
歴史を知れば知るほど、今  
の現実と向かい合うときに  
参考になるものはないかと  
思います。

そうそう、自治研の申し込みは、  
もちろんもうお済ですよ。まだ  
の人は急いで、申し込みを!

